

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
コンサート・イベント科											
コンサート概論2 PAコース											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	平本 敦彦			実務 経験	有	職種	サウンドエンジニア/管理職				
授業概要											
<p>コンサートに関する知識を学び、単なる技術者としてだけでなく業界をリードする人材としての知識、能力も身につけます。この授業で、大切なことは進みすぎず、本年度の学生の様子を考慮し人にやさしいエンジニアの育成に注意しながら、電氣的アプローチから良い音を考察します。</p>											
到達目標											
<p>基礎実習ローテーション期間は希望コースにかかわらず、ライブイベントの中の音響(サウンドエンジニアリング)技術の分野を理解し、コース選択後は基礎音響学をもとに、音のしくみや聴こえ方、音響機器の特性など実習で行っていることと合わせて理解していきます。最先端技術を十分に理解し、技術はあらゆる人々に信頼される言動に表れるよう人格形成を目標とします。</p>											
授業方法											
<p>大切なことは進みすぎず、学生の様子を考慮し人にやさしいエンジニアの育成に注意しながら、電氣的アプローチから良い音を考察します。</p>											
成績評価方法											
*試験と課題を総合的に評価する											
履修上の注意											
<p>授業開始時に着席し、空欄のノートとシャープペンの芯が出て、すぐ書ける状態でスタンバイをしておく。音楽をはじめとしてエンタテインメントは社会から生まれるものであることから、世の中の動きなどを知るための努力、授業だけではカバーできないエリアなどは、各自義務感ではなく好奇心として捉える癖をつける。他人の意見を否定せず、いったん自分に取り込んで決定する癖を付けていく。</p>											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	前期復習：人の聴覚と社会人としての振る舞い。										
第2回	前期復習：アーティストとエンジニアの境目。										
第3回	電気音響：電気の性質。実験をしながら理解する										

第4回	電気音響：コイルと磁石の関係について。ワイヤレスマイク・ワイヤレスモニターについて理解する
第5回	楽器と音楽：楽器の構造と音について理解する
第6回	楽器とは：楽器と楽曲について理解する
第7回	楽器と音響機器：デジタルとアナログについて理解する
第8回	楽器と音響機器：ノイズの世界、音響にとって好まざる音を理解する
第9回	音場調整：音響測定の種類とその手法を理解する
第10回	音響機器：様々な測定方法とその危険性について理解する
第11回	再生装置：スペックと実際の違いについて理解する
第12回	再生装置：大気と音について理解する
第13回	実習準備：い音とは、ミキシングバランスについて理解する
第14回	実習準備：仕事と時間について理解する
第15回	コストパフォーマンス：安全、パフォーマンス、礼儀、コストについて理解する